

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （店員）	・去年の秋口は、沖縄など他方面に客をかなり取られた。今年も海外、沖縄とも伸びてはいるが、昨年離れた反動で北海道に戻ってくる。国際情勢の不安定な状況から、旅行全体に対する悪影響が出なければと感じている。
		衣料品専門店（店長）	・依然として客の買物点数が多く、また初秋物の立ち上げが年々早くなる中、消費動向が比較的好調な婦人服で、初秋物の売れ行きが本格化することで、好調が見込める。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・日中の動向は上向き傾向に感じられるが大きな変化にはならない。飲食を中心とした夜間の動向は、屋台村が10月にオープン予定されていることから、地元客や観光客、視察などでにぎわいが予想される。また新規飲食店の開店や空き店舗への問い合わせが数件みられる。
		百貨店（役員）	・催事等で納得のいく商品やプライスを提案すれば、集客も良く、高単価の商品やまとめ買いで売上が確保できるようになってきた。
		スーパー（店長）	・前年の猛暑の反動もあり、7月単月では夏物商材が低迷しているが、家電や日用消耗品、水産物、青果などで売上回復の兆しが見えてきており、消費は回復しつつある。
		スーパー（店長）	・野菜の収穫時期に入り、客数をしっかり捉えつつ単価もキープしようと、採れたて野菜の販売に力を入れており、その成果が少しずつ現れてきているため、今後についても期待できる。
		スーパー（店長）	・6月に引き続き販売量が前年を上回っている。前年比は107%と確実に昨年より売れている。
		衣料品専門店（店員）	・来客数が増え、単価が上昇しており、売上も増加しているため、今後は状況が良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・知床が世界自然遺産に登録されたことから、観光を中心に景気が良くなる。
		観光型ホテル（経営者）	・知床の世界自然遺産登録による効果に期待している。かつての知床ブームを知る者が減少してきているが、今回の世界自然遺産への登録で異なる世代の知名度が上がり、自然志向と相まって道内外客の増加が期待される。またボーナスの支給具合にもよるだろうが、夏休み、お盆休みの家族連れが増加も期待される。
		観光型ホテル（スタッフ）	・現在の予約状況を見ると、8月が前年割れしているものの、9～10月は強含みに推移している。
		旅行代理店（従業員）	・現在は旅行需要に若干勢いが無いが、海外の不安定な情勢と円安傾向にあることから、国内では秋旅需要が伸びる。
		美容室（経営者）	・以前よりも客の購買意欲が高まっており、気に入ったものは買う意欲が感じられる。
		住宅販売会社（従業員）	・東京の景気の良さがじわじわと伝わってきて、ムードが上がりつつある。住宅業界では増改築等を検討する動きが一部みられる。ただし新築についてはまだまだそういう雰囲気はない。
変わらない		商店街（代表者）	・商品のトレンドは、秋物に関しても今の流れを追っていくだろうが、天候の影響もかなりあるので何とも言いえない状態である。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今年に入ってから多少の増減はあるものの、基本的な売上ベースはそう変わっていないため、今後も変わらない。
		百貨店（売場主任）	・秋物の商品が少し良くなる。クールビズから秋に向けてのウォームビズで紳士カジュアル関連の動きが良くなる気配がある。
		百貨店（売場主任）	・郊外型量販店との競争の激化が今後も更に過激になる。
		コンビニ（エリア担当）	・販売量は大きくは減少していないが、客単価が低下している。物価の下落に伴い、商品単価が下がっているということが大きな要因となっている。このため客数増加の対策を取っても、販売量が追いつかない状況になっている。
		コンビニ（店長）	・客の様子を見る限り、やはり必要以上に商品を買わない傾向がここ数年継続している。飲食を中心に最小限の買物点数で終わっている。企業が領収書を下さいというような買物が増えたと、店としてはプラスになっていくが、各企業や店の体力が回復しない限りそれは望めない。
		家電量販店（店員）	・デジタル家電の中で、DVDレコーダの落ち込みがあるので、今後についてもあまり期待できない。

	高級レストラン（スタッフ）	・知床の世界自然遺産への登録がなされたが、特に大きな動きは感じない。
	高級レストラン（スタッフ）	・8月の予約件数は少ないが、9月は多くなっている。しかし単価が上がらず予想売上は現状維持がやっとである。
	旅行代理店（従業員）	・好材料が見当たらず現在の停滞した状況は変わらない。
	旅行代理店（従業員）	・8～9月の申込件数は昨年と変わらない。方面によっては減少している。
	その他レジャー施設（職員）	・地元球団がプレーオフに進出すれば景気は上がるが、進出しなければ大幅にダウンする。プレーオフに進出した場合には昨年よりも動員が増え、売上も今よりも数段上がる。
	設計事務所（所長）	・業界の強気姿勢とユーザーの感覚に温度差が感じられる。このまま順調に利益率のアップとはならない。
	住宅販売会社（従業員）	・販売量の低下は所得の不安定さが要因と考えている。その所得も変わる要素が見当たらないので、状況としては現状どおり推移する。
やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・夏場の天候や生鮮食品の相場の動向にもよるが、食品や日用品の消費については、白物家電の買換えやクールビズなどの新たな支出の影響で慎重かつ価格重視の姿勢が続く。
	コンビニ（エリア担当）	・安い商品への移行が続いている。天候も昨年と比べて暑くなく、消費が伸びない。観光も小売も夏場が勝負であり、このままでは低調に推移する。
	コンビニ（エリア担当）	・釧路地方は全道平均より人口の減少率が高く、基幹産業である漁業も春からすべて不漁で所得が減っている。現状のままですとマーケット自体の縮小が考えられ、今後の景気回復は厳しい。
	衣料品専門店（店長）	・石油が高騰しているが、北海道は2～3か月後には寒くなり始め、灯油をたくさん使うので、客は今から大変心配している。このことから、2～3か月後に景気が良くなるとは考えられない。
	乗用車販売店（従業員）	・個々の世帯では、収入やボーナスの上昇がないらしく、景気が良いという話は聞かなくなっている。どこも厳しい状況である。
	住関連専門店（経営者）	・中心部の商店街の立地では、観光客に頼る部分が多いのだが、テロや関東の地震等の影響がどう出るのが心配である。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・当面、石油製品の高騰が続き、企業及び家計の大幅な負担増を招く。
	タクシー運転手	・規制緩和で新規タクシー会社が増えていることと、既存のタクシー会社の増車でタクシー台数が増えている。一方、利用客は減っているので、ますます競争が激しくなり、タクシー1台当たりの売上は減少していく。
	タクシー運転手	・愛知万博や知床に観光客が流れ、地元への観光客数が減少する。
		観光名所（役員）
	悪くなる	-
企業動向関連	良くなる	-
変わらない	家具製造業（経営者）	・衣、食から住へとトレンドが変わりつつある。
	通信業（営業担当）	・販売実績、商談数ともに、しばらくはやや上向きと感じる数字が出ている。
	輸送業（支店長）	・今後数か月間は受注残が残るため、現状と同様の荷動きが想定される。コンクリート製品についても同様の動きになると思われる。また中国の元の切上げが2%であったことから、輸入雑貨にはほとんど影響が出ないと想定されるため、コンテナによる輸入貨物の動向は変わらない。
	通信業（営業担当）	・ここ何か月かは受注量、金額とも横ばいで推移しており、今後もしばらくこの状況が続く。
	金融業（企画担当）	・大きなウエイトを占める建設業は公共投資の削減で厳しさが続く。観光関連は知床の世界自然遺産への登録で、道内、道外からの観光客のある程度の増加が見込まれるが、愛知万博との競合もあり大きな期待はできない。
	その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・将来に向けての大きな話はあまりない。小さい仕事で食いつないでいるという感じが今後も続きそうだ。
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・顧客の設備投資意欲が向上していない。

		<p>その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）</p> <p>・建設需要は季節的な要因で増加するが、時期的なものであり、全体としては変わらない。</p>
	やや悪くなる	<p>食料品製造業（団体役員）</p> <p>・ガソリン価格の高騰に加えて、資材運搬料の値上げが予想されることから現在よりやや悪くなる。</p> <p>輸送業（営業担当）</p> <p>・原油の高騰による船社の運賃値上げやトラックの燃料油高によるコスト割れ等で厳しい状態となってきている。</p> <p>その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）</p> <p>・新規受注量が増加せず、既存受注分の製造、工事が終盤に入り、工場の操業度が低下傾向になる。道内からの発注分の見通しは暗く、道外からの受注を期待しているもののこれも確たる見込みが薄い。</p>
	悪くなる	<p>輸送業（経営者）</p> <p>・輸送関係は原油の値上がり等から相当悪くなる。</p>
雇用 関連	良くなる	<p>学校〔大学〕（就職担当）</p> <p>・現在も秋採用及び通年採用で求人活動している企業が多い。採用予定者を確保できていない企業が多くあるので、今後採用状況は良くなっていく。</p>
	やや良くなる	<p>求人情報誌製作会社（編集者）</p> <p>・地元経済を支えている基幹産業の農業、酪農、畜産関連が堅調なことに加えて、収穫繁忙期の求人意欲が高まりつつあるのを感じる。</p>
		<p>求人情報誌製作会社（編集者）</p> <p>・これまで建築業や道外の業務請負業、コールセンター、人材派遣業などが、求人件数増加のけん引役だったが、今年に入ってから、それらに加え小売、飲食など個人消費関連の求人が好調になってきており、今後もこの傾向が続く。</p>
		<p>求人情報誌製作会社（編集者）</p> <p>・昨年から続いている大型ショッピングセンターの建設がまだ続いており、秋に向けても1店、大規模建設が行われており、求人が増加する。</p>
	変わらない	<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>・派遣のオーダーは今後も増加傾向を維持するものと思われるが、発注先企業の景気が良いということではなく、長期雇用ができない分を派遣で対応している状況であり、発注先企業の経営が良くなる要因はみえてこない。</p>
<p>人材派遣会社（社員）</p> <p>・求人数はやや増加傾向にあるが、職種の偏りやスキルの高い人材を求める傾向が依然として続いている。</p>		
<p>求人情報誌製作会社（編集者）</p> <p>・採用控えの傾向は、ここしばらくは変動がない。</p>		
<p>職業安定所（職員）</p> <p>・新規求人は増加傾向にあるが、増えているのは派遣、請負、パート求人であり、求職者の雇用環境は依然として厳しい状況にある。</p>		
やや悪くなる	<p>職業安定所（職員）</p> <p>・水産加工等で企業倒産が発生しており、新規求職申込件数も増加している。</p>	
悪くなる	-	-